

# 五泉市

# 議会だより



第5号  
平成21年  
4月25日

■発行／五泉市議会 ■編集／広報特別委員会 ■議会事務局／〒959-1692 新潟県五泉市太田1094番地1  
TEL.0250-43-3911（内線370） FAX.0250-43-2716



一本杉のチューリップ

◆目次

議長室から

100条委員会  
(行政調査特別委員会) 終了

職員の処分について

2～3

第2回3月定例会

議決結果など

4

第3回臨時会

議決結果など

4

委員会審査報告

総務文教常任委員会

厚生経済常任委員会

建設企業常任委員会

特別委員会調査報告

5～6

一般質問（16名）

各委員会の構成

意見書の提出

市議会の仕組み  
・  
編集後記

16

15

15

7～14

ページ

# 特別委員会終了

## 議長室から

平成20年12月9日に行つた行政調査特別委員会の調査報告を受け、市当局が関係職員の処分を行つたことに関し、今定例会の冒頭に市長から報告がなされました。（報告内容は下記及び次ページに掲載）

また、定例会最終日の3月25日には、市長並びに教育長がそれぞれの責任者の立場から今回の問題に対する自らの処分として減給する旨の条例案が提出され、議会はこの条例案を可決いたしました。

このような情勢から体育館の入札問題と簡易水道有収率改ざん問題の調査については、所期の目的を達成したものと判断して、行政調査特別委員会を終了することが委員長から報告されました。

しかし、今回の調査を通じ明らかになつた事項がある一方、入札の公平性、透明性の確保や簡易水道の漏水調査などが今後の課題として残つていることも事実です。

これらの課題解決については、行政側の早急な対応を期待するものですが、二度とこのような不祥事が起きないよう、議会の責務としても行政に対する監視機能をさらに高めて対応していく考えであります。

## 職員の処分について（市長報告）

12月定例会で行政調査特別委員会の報告がありました（仮称）村松体育館建設工事の入札事務と簡易水道の有収率改ざんに係る職員の処分について報告申し上げます。

まずもって、この2つの事案により行政の信頼を損ねたことについて議会並びに市民の皆様に対し深くお詫び申し上げます。

（仮称）村松体育館建設工事の入札事務に係る職員の処分については、職員懲戒審査委員会へ平成20年8月4日に諮問を行いましたが、その後、市議会では行政調査特別委員会が設置され、調査報告がなされました。この調査報告を受けた後、平成21年1月21日に追加で諮問を行いました。

審査委員会からは、慎重に審議をいただき2月18日に答申をいただいたところであります。

総務課の入札執行においては、共同企業体の結成にあたって地元業者を優先するあまり特定の業者のみに依頼したこと。

決裁の日付の誤りや入札参加資格者台帳を誤ったことにより、入札執行に疑惑をもたれることとなつたこと。

特記事項の取扱いについて、担当課との連絡が不十分であり削除されないまま業者へ渡つたこと。

本体工事並びに電気設備工事の議案が否決されたにも拘らず契約条項に記載が

# 100条委員会(行政調査)

なく前払金の支払いがなされたこと。

2回目の入札においても、公告の内容に間違いがあり公告をし直すこととなった。

生涯学習課においては、特記事項の取扱について、設計書の内容に配慮を注ぐことなく特記事項の存在に明確な意識を持たなかった。また、前任者も後任に引き継がなかった。その結果入札を担当する総務課にもそのことが充分に伝わらなかつたこと。

本体工事並びに電気設備工事の議案が否決されたにも拘らず前払金の支払いを行つたこと。

これらの事務は慎重かつ適正に行わなければならぬものであり、これに欠けていたものとして、それぞれ相当の処分が妥当との答申を受け2月24日付で処分を行いました。

処分の内容については、「減給1/10, 1ヶ月」1名、「減給0.5/10, 1ヶ月」1名、「戒告」1名、「文書訓告」3名、計6名あります。ただし、1名については処分を保留中であります。

次に、簡易水道の有収率改ざんに係る職員の処分についてであります。

この問題についても2月2日に職員懲戒審査委員会へ諮詢を行い2月18日に答申をいただいたところであります。

答申の内容は改ざんに関係した職員はそれぞれの職責と関わった内容によって相当の処分が妥当との内容であります。

また、職員懲戒審査委員会からは、行政調査特別委員会の調査結果報告を踏まえ、市の調査委員会で不明確であったものを再度確認したところ、「行政調査特別委員会での証言のとおり相違ないとのことでありました」との報告を受けております。

有収率が長年に渡り改ざんされていたことは、議会及び市民や国・県に対し行政の信頼を損ねるもので、問題意識の低さや責任感の欠如があったものと考えます。

処分の内容については、「減給0.5/10, 1ヶ月」2名、「戒告」3名、「文書訓告」4名、「厳重注意」3名、計12名の処分を2月24日付けで行いました。

また、当初改ざんを指示した者や関与した者の中には既に退職や死亡している方も含まれています。これらの既に退職した職員について、弁護士にも照会し回答を得た結果、退職前の不祥事を理由とした懲戒処分をすることはできないとのことでありました。退職金の返還については、刑事事件に関し禁固以上の刑に処せられた場合とされているため、現職の職員のみの処分としたものであります。

これら一連の問題で、行政調査特別委員会が設置され、議会並びに市民の皆様の信頼を損ねた最高責任者として、私の責任については、本定例会の最終日に明らかにしたいと考えております。

今後、このようなことが起ることのないよう職員のモラルの徹底を図り、綱紀粛正に努めてまいりたいと思います。

以上、職員の処分についてのご報告とさせていただきます。

# 平成21年 第2回 3月定例会

第2回3月定例会は、3月4日から3月25日までを会期とし、平成21年度各会計の歳入歳出予算や条例の改正、補正予算などについて慎重審議されました。

## 3月定例会議決結果など

3月定例会で審査された案件		審査した委員会※	議決結果
<b>20年度補正予算</b>			
一般会計補正予算（第11号）		原案可決	
一般会計補正予算（第12号）		原案可決	
一般会計補正予算（第13号）		原案可決	
国民健康保険特別会計補正予算（第4号）		原案可決	
老人保健特別会計補正予算（第2号）		原案可決	
介護保険特別会計補正予算（第4号）		原案可決	
下水道事業特別会計補正予算（第5号）		原案可決	
簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）		原案可決	
小規模水道事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
川東財産区一般会計補正予算（第2号）		原案可決	
村松第二工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）		原案可決	
水道事業会計補正予算（第4号）		原案可決	
<b>条例の制定・一部改正</b>			
五泉市長の選舉における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例	総務文教	原案可決	
五泉市地域活性化・生活対策基金条例の制定		原案可決	
五泉市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定		原案可決	
五泉市放課後児童健全育成事業条例の一部を改正する条例	厚生経済	原案可決	
五泉市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	厚生経済	原案可決	
五泉市障害者地域活動支援センター条例の一部を改正する条例	厚生経済	原案可決	
五泉市精神障害者小規模通所授産施設条例を廃止する条例	厚生経済	原案可決	
五泉市介護保険条例の一部を改正する条例	厚生経済	原案可決	
五泉市交通安全条例の制定	厚生経済	原案可決	
五泉市道路占用料条例の一部を改正する条例	建設企業	原案可決	
五泉市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	
五泉市教育委員会教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	
五泉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	
五泉市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	
五泉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	
五泉市職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	
<b>議員提出議案</b>			
<b>21年度予算</b>			
一般会計予算		分割付託	原案可決
国民健康保険特別会計予算		厚生経済	原案可決
老人保健特別会計予算		厚生経済	原案可決
介護保険特別会計予算		厚生経済	原案可決
下水道事業特別会計予算		建設企業	原案可決
簡易水道事業特別会計予算		建設企業	原案可決
小規模水道事業特別会計予算		建設企業	原案可決
川東財産区一般会計予算		厚生経済	原案可決
村松第二工業団地造成事業特別会計予算		厚生経済	原案可決
後期高齢者医療特別会計予算		厚生経済	原案可決
水道事業会計予算		建設企業	原案可決
<b>その他</b>			
市道の認定について		建設企業	原案可決
五泉市議会公務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例			原案可決
小中学校、保育園適正配置等特別委員会の設置について			原案可決
意見書の提出について（1件）			原案可決
<b>議員提出議案</b>			
<b>請願・陳情</b>			
金融危機に端を発する大量解雇・雇い止めから雇用とくらしをまもる緊急対策の強化を国に求める意見書提出を求める請願		厚生経済	継続
平成21年度税制「改正」関連法案において、消費税率の税率引き上げをおこなわないことをもとめる請願		総務文教	不採択
アフリカ・ソマリア沖への自衛艦派遣に反対する請願		総務文教	不採択
C型肝炎被害者救済の意見書採択に関する陳情		厚生経済	採択
<b>＜議員の辞職について＞</b>			
○古田弘平議員の辞職願を可決した。			
<b>＜当局報告＞</b>			
○職員の処分について			
○中学校での生徒の問題行動について			
<b>議員発議による特別委員会を設置</b>			
○名称：「小中学校、保育園適正配置等調査特別委員会」			
○目的：小中学校、保育園の適正配置及び施設整備等について調査する。			
○委員の定数：(8人) 構成員は15ページに掲載			
○調査期間：目的に掲げる審査が終了するまで、閉会中もなお審査を行うことができる。			

※ 「総務文教」：総務文教常任委員会  
 「厚生経済」：厚生経済常任委員会  
 「建設企業」：建設企業常任委員会

# 平成21年 第3回 臨時会

第3回五泉市議会臨時会は、3月31日に開催され、平成20年度補正予算1件と副市長選任の人事案件について審議されました。

## 第3回臨時会議決結果など

臨時会で審査された案件		審査した委員会※	議決結果
<b>20年度補正予算</b>			
一般会計補正予算（第14号）		原案可決	
<b>人事案件</b>			
五泉市副市長の選任		同意	
<b>市長提出議案</b>			
<b>＜人事案件＞</b>			
○前教育長であった 佐藤 功 氏を副市長に選任することに同意した。			

## 総務文教常任委員会審査報告

(主な質疑)

### 市役所駐車場について

問 総務課所管の一般駐車場が大変込み合っている。今後、支所の体制が今後本庁に集中してくると来庁者の増加も想定されるが何らかの方策は検討しているのか。

答 市議会、税金の申告、市日などの時には駐車場が大変込み合っていることは認識している。正面玄関前の噴水の場所を広げることを検討したい。

### 市営バスの運行について

問 当市でも阿賀野市のように市営バスの運行はできないか。

答 幹線的には蒲鉾バスの定期定路線を残しながら、集落と市街地を結ぶデマンド（乗合）・タクシーのイメージで考へてある。通学の対応が出来るかを考えながら努力する。隣接の阿賀野市では運転手をタクシーカーなどに委託しておらず、加茂市は臨時雇用している。いずれも収支率は芳しくないようだ。

委員長 石 黒 俊 雄

### 附属機関について

問 統括課（企画政策課）として、今回の特別委員会の報告を受け何らかのアクションを起こすのか。

答 おののの課が附属機関のあり方、協議会のあり方、定義そういったものについてよく周知したいと考える。

### テニスコート整備工事について

問 東公園のテニスコート整備工事の予算が新年度に計上されているが、東公園と栗島公園のテニスコートについて将来的な指針はどうなるのか。

答 東公園テニスコートは平成3年ごろに整備されたもので、特に痛みが激しい1面の改修を行うものである。

また、市営バスについてのメリット、デメリットはどうか。

東公園は硬式テニス、栗島公園は軟式テニスという利用団体があり、3面ずつではなかなか大会も開きにくくと聞いていることから、将来的には栗島のコート数を増やして大会が開けるような環境整備を考える時期ではないかと考えている。

## 厚生経済常任委員会審査報告

(主な質疑)

### 夜間診療所について

問 4月から開設される夜間診療所の運営と施設の賃貸借契約はどうなるのか。

答 運営については、医師会の先生方23名による、月曜日から金曜日までのローテーションによる交代制で協力を願い、賃貸借契約はとりあえず3年ということで設定させていただいている。

### 夜間診療所

・場所 東本町2丁目

(旧広瀬医院)

#### ・時間

平日（月～金）

午後7時～10時

### 特養の待機者及び定員について

問 現在、市内の特養待機者はどの位か。また、定員数はどうか。

答 昨年2月に実施した全県一斉調査では492人ということでした。また、定員は369人であるが、施設整備には国自体が制限しているため、保険料とサービスの部分については、バランスをとることが非常に難しく苦慮している。

委員長 鈴 木 良 民

### 農地法の規制緩和について

問 規制緩和による市内への企業等の農業参入に対する対応は。

答 農地改革プランが公表され、大幅な規制緩和の方向となつていて、家族営農から集落の中での助け合い組織を作りながら積み上げてきた地域の実態があり、市外等からライバル的な形で参入されると大きな混乱をきたす恐れがあることから十分調整を図りたい。

### 観光マップについて

問 観光マップの配布先は。

答 市内ではコンビニや宿泊施設等、市外では朱鷺メッセ、ふるさと村、高速道路のサービスエリア等、県外は東京渋谷区のネスパスなどに配布している。今後は、ガソリンスタンド等にも配布したい。

要望 チューリップまつりやさくら、さといもまつり等、五泉市に多くの方がお出でになるのでパンフレットやマップ等の予算を増額してPRをしてもらいたい。

# 建設企業常任委員会審査報告

委員長 山 田 博

(主な質疑)

## 善願橋の隅切りについて

問 善願橋の隅切り工事の見通しについてはどうか。

答 県は橋の補強工事に伴い、隅切り工事を計画していたが、他の橋の耐震補強工事を優先的に行うこととなつたため、そちらを先に行っているが、善願橋の工事が中止となつたわけではないので、今後も協議を行う。

要望 五泉市斎場への重要な道路でもあり、交通事故も発生していることから早急に実施できるようお願いする。

## 五泉駅南口の整備について

問 五泉駅南口、旧蒲鉾駅の整備については、近隣住民も雑草の草刈を蒲鉾に依頼してきた経緯もあり駐車場の利用等、早急に対応すべきではないか。

答 都市計画マスター・プランの中にも今泉から村松間の整備計画と五泉駅裏についても整備することとしており、それに向かい努力することであるが、採用に伴う施設

問 下水道工事と漏水調査について

答 女性消防士の対応として仮眠ベッドの用意や施設改修の費用を新年度に見込んでいた。高齢者や女性の一人暮らしの方などに対する予防活動にも活躍が期待できる。火災の反省点はいくつかあるが、一分一秒を争う中での火災警報器の効果が大きいことから重点課題として取組み、設置について市民の皆さんからご理解をいただきたいと考えている。

改修や勤務条件などの対応はどうか。また、2月の火災における反省点はあるか。

答 女性消防士の対応として仮眠ベッドの用意や施設改修の費用を新年度に見込んでいた。高齢者や女性の一人暮らしの方などに対する予防活動にも活躍が期待できる。火災の反省点はいくつかあるが、一分一秒を争う中での火災警報器の効果が大きいことから重点課題として取組み、設置について市民の皆さんからご理解をいただきたいと考えている。

(調査の経過と内容)

この特別委員会は平成19年の12月定例会に、五泉市と村松町の合併後から設置されている任意の各種委員会などの附属機関が適正に設置され、効率よく運営されているかを調査する目的で設置された。

調査の回数は昨年が3回、本年1回の通算4回で、延べ69の附属機関について各所管課から説明を受け調査を実施した。

現在設置されている附属機関の内訳は法令に基づくものが7機関、条例に基づくものが30機関、要綱等で定めたものが32機関となつてている。

附属機関の設置にあたつては、

県からガイドラインが示されており、行政の知見の不足を補うことを目的に、広範若しくは専門的な立場から、それぞれの知識や見識に基づいて自由な意見交換や検討を行う組織であるとしている。さらに、条例によらない任意組織に対しては諮問や調査要請を行う

今回の調査における改善事項等を3点にまとめて報告する。

# 附属機関等調査特別委員会調査報告

委員長 羽 下 貢

1点目としては、当市における附属機関の数が多く、なかには機能していないものも見受けられるところから、よく精査をして実効性のある機関のみに絞り、なるべく条例による設置にすべきと考える。

2点目は、幅広く市民の声を市政に反映させたいとのことで、審議会や協議会、検討委員会などの名前で機関を設置し、委員を委嘱しているが、複数の機関において同一の方が委員となつてている。こ

れでは固定された人たちの意見のみが集約されるのではないかと危惧されるため、より多くの市民の声を反映させるべく調整を行うなどは正をすべきと考える。

3点目は、各附属機関の委員に支払われる金額が、報酬として5千3百円、謝礼として3千円、費用弁償として2千百円と各機関によってまちまちであり、一定となつていいないことが挙げられる。

これは委員としての職務による差であるのかどうか、内容が不明確となつており、早急に基準の作成を検討して公平にすべきと考える。

なお、本委員会は設置後、1年3ヶ月間に亘り、調査を行つてき

たが所期の目的を達成したことでのことであるが、採用に伴う施設

## 一般質問(通告順)

山田 博

## 急げ！新型インフルエンザ対策

**問** 国は今年2月に新型インフルエンザ行動計画の改定を行い、あわせてガイドラインを策定した。従来は新型インフルエンザの流入防止や初期封じ込めに対策が偏っていたが、改訂版では国内流入は避けられないとの現実路線に立ち、目的を感染拡大を可能な限り抑制し、健康被害を最小限にすることと社会経済を破綻させないの2つに明確化した。全国一律でなく、地域の実情に応じた対策をとれるようにした。

例えばある地域で一人でも患者が出たら、その都道府県全体の学校を一斉休校にする等、発生早期から大規模で効果的な対応をとれるようにした。現段階で都道府県レベルの行動計画は策定されているが、より住民に近い市町村の取り組みに遅れが目立っている。五泉市としてもいっときも早い行動計画の策定が望まれるが、予定は。

**答** 新型インフルエンザはいまだ世界中のだれも遭遇したことのないものであり、したがって基礎免疫を持っている人がいないため膨大な数の罹患者が発生すると言われている。市民の健康の危機であるので、災害の観点で取り組んでいく。

五泉市は、今年に入って専門家を招いて関係課による勉強会を行い共通認識を深めると同時に、総務課、健康福祉課、消防本部を中心に新型インフルエンザ検討会を開催し、行動計画の策定に向けた取り組みをやっている。今後は関係機関とも連携を深め新年度の早い時期に策定したい。



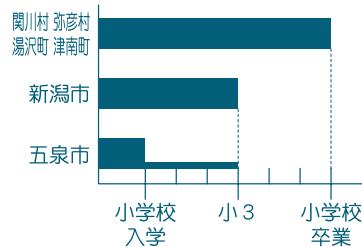
いのくま 豊

## 子供の通院費助成拡充を！

**問** 子育て支援策として医療費助成が行なわれていますが、新潟県の制度は全国から見て極めて低いレベルとなっています。このような中、関川村や弥彦村、津南町などでは今年4月から、通院費助成を小学校入学前から小学校卒業まで拡大し、隣の新潟市でも4月から小学校3年生までに拡大します。

新潟県内の通院医療費助成制度

五泉市では小学校入学前までとなっている。せめて新潟市のように拡大すべきです。



**答** 県が今年9月から、3歳から18歳までの子供が3人以上いる世帯に対して、小学校3年生までの通院費を助成するので、五泉市もそれに合わせて拡大します。今後、県の制度の拡大を要望しながら検討したい。

## 緊急雇用対策を！

**問** 今、全国で雇用不安が広がっている。五泉市は誘致企業に税金を免除してきた。しかし、大勢の人が解雇されている。市の最重要課題として、相談窓口の設置、臨時職員や正職員採用の人数と年齢拡大など緊急に雇用対策を実施すべきです。

**答** 誘致企業に過去十年間で税金約3億円を免除してきたが、この3月で更に約120人が雇い止めされる。雇用維持を企業に要請する。市独自の緊急雇用対策として臨時職員を採用します。また、正職員採用の人数と年齢の拡大を検討したい。

## 一般質問(通告順)

町田 としお

## 老々介護の解消を！

**問** 老人が老人を介護する老々介護が社会問題化している。少子高齢化時代の在宅系サービス介護には限界を感じる。特別養護老人ホームの入所者を大幅に超える入所待機者のため施設の増設を図り、時代に対応した支援体制の構築を急ぐべきと考える。

当局の所見を伺う。

**答** 特養の入所を希望している方は平成20年2月時点で492人（入所者数は355人）であります。入所待機者の状況や市民ニーズに対応するためにも一定の整備を進めていく必要から平成21年度に20床、平成23年度に29床の整備を見込んでいます。国が入所型施設の整備を制限していることと整備の促進が介護保険料の上昇につながることは制度の見直しが必要ですので全国市長会を通じて要望します。

## 活力ある五泉を！！

**問** 百年に一度の経済危機の中、国内の外でグリーンニューディールが叫ばれている。環境対策、雇用創出、景気浮揚を同時に目指す政策である。既に新エネルギー・バイオマスを策定済の五泉市はここぞとばかり、五泉版グリーンニューディール政策の展開で五泉を元気にすべきと考えるが所見は？

**答** 太陽光発電や風力発電、更には既に町田議員提案の木質ペレットも新エネルギーとなり、地球温暖化防止に貢献できると考えます。環境省も環境対策を通じて景気回復及び雇用創出、環境問題の解決を同時に実現すべく、日本版グリーンニューディール構想として「緑の経済と社会変革」の作成を進めているところであります、五泉市も地域特性なども勘案した上で、どのような取組みができるか研究課題とします。

あべ かねお

## 学力向上のために、五泉市内の小学校・中学校において、土曜日を登校日にするべきである。

**問** 児童・生徒の学力低下が問題になっている。学力低下の改善策として土曜日登校を復活させ、学習機会の時間を増やすべきである。土曜日が休みになり、学力低下を恐れて塾通いが増えたことも考えると、土曜日を登校日にして、児童・生徒全般の基礎基本の学力定着と応用力の向上を図るべきであるがいかがか。

**答** 学力向上のために五泉市の小中学校の休日である土曜日を登校日にすべきであるというご提案については、学校教育法施行規則に特別な場合を除き実施は困難であると考える。しかし、指摘のとおり授業日数の増加を図ることについては、平成21年度の学習指導計画策定に当たり夏季休業日や冬季休業日を短縮することによる授業日数増加を検討している。なお、現在学力向上を目指し、寺子屋の事業を実施している。



## 一般質問(通告順)

芳賀 和久

## 市長の政治姿勢とこれからの景気対策は?

**問** アメリカのサブプライム住宅ローン問題に端を発し、1929年の世界大恐慌に次ぐ、戦後最大の不況とも言われているが、当市においても地方交付税を除く市税が減収の一途を辿っている。地場産業も先行き不透明の中、税収の確保や景気回復のビジョンがあれば、お聞きしたい。

**答** 昨年12月から地域活性化、緊急安心実現対策として信用保証料の補給金の拡充を実施し、新年度においては金融支援を初めとした経済活性化対策に取り組む予定であるが、即効性のある景気対策はなかなか難しい現状である。

**問** 県内20市中20番目という市民の年間所得であるが、一方県内でもトップクラスの職員の給与の一部に商品券を受けて頂き、今売り出すプレミアム商品券と共に利用し、市場を刺激し消費拡大に協力して頂けないものか?それが景気回復の起爆剤となり、税収の確保にもつながると思うが?

**答** 職員の給与の一部を金券などで給付する事は法の問題もある。職員は当然プレミアム商品券を購入すると思う。

## (仮)村松体育館について

**問** 名称や愛称はどのようにするのか?歴史的逸材の加藤澤男先生を後世に伝え、実績を風化させない意味でも、ボタンを押すと当時の活躍が映像を通して見れるようなシステムを作つてみてはどうか?

**答** 愛称は一般公募により決定する事を想定している。加藤澤男先生のビデオ映像の放映は、現在映像が無いので今後の検討課題にさせていただきたい。

羽下 貢

## 公共交通の確保について

**問** 現在、路線バス・コミュニティバス、福祉バスが運行されている。運行形態によって負担がかなり違い不公平感が大きいと思う。今後の対策は。又乗車率を上げるために利便性の向上が不可欠である。その方策は。

**答** 利用者の負担、運賃については、実施主体、運行目的及びサービスの内容の違いから距離制、均一制をとり、福祉バスは無償となっている。持続可能な公共交通体系の維持のため国の支援を受け、公共交通活性化プログラムを策定すべく作業を進めている乗車率については利用者のニーズに対応し「デマンド乗り合いタクシー」も有効と考えており、地域公共交通活性化、再生事業で取り組みたい。



公共交通活性化に向けた住民意見交換会

## 教育行政について

**問** 未曾有の不景気は子供達の進路に大きな不安を与えている。行政として奨学金の拡充を考慮願いたい。又、本来の先生方の役割を果たすため又、緊急雇用対策として学校事務員の配置を。

**答** 五泉市の奨学金貸付額は県内では平均的な額である。増額については当市の制度と他の制度を併用することで借入額を増やすことが出来ることや、返済額との関係もあり今後検討する。又、教員の事務的業務を軽減し、学習指導に専念出来るように効率化を目指した共同実施を進めている。現在の人員でも支障を来たすことのないよう努めて行く。

## 一般質問(通告順)

石黒 としお

**画竜点睛を缺く トイレの整備を**

**問** 愛宕山に身体的弱者のために県により生活環境整備事業として遊歩道及びその周辺の整備をされています。しかし身体的弱者のためのトイレが計画されていないと聞きます。これでは、仮作って魂入れずとなり目的が十分に達成出来ないのでないか。

**答** (トイレの設置はする。)

村松公園バリアフリー化事業として園路整備工事等を計画しています。これらの一環としてトイレの設置についても総合的に対応いたします。

時期としては22年度以降で遊園地と勘六堤の中間点あたりを検討したい。



バリアフリーの遊歩道

**愛宕山をもみじの里に**

**問** 花の五泉の代表的なものに、ミズバショウ、チューリップ、桜、ボタン、雪割草等いずれも春の花ばかりです。

秋の紅葉を売り出すことが出来たら、思っております。弥彦公園のもみじ谷には、500本のもみじが植えられて9、10月で19万人も訪れる方があるそうです。愛宕山の西側（裏側）は整備の遅れがありますが、愛宕山の特性である市街地周辺の保安林、里山として多くの方々の共感を呼ぶものと思います。

**答** (整備は検討する。)

現在自生しているもみじを移植することが可能かどうか。調査・検討して市民に親しまれるような里山に整備していきたい。

鈴木 光規

**年末にもプレミアム商品券を**

**問** 市では、定額給付金の支給時期に合わせて、市内限定の利用できる、プレミアム商品券を発行します。

年末等に、商工会、商工会議所等が、商品券を計画したら、予算付けするか伺う。

**答** プレミアム商品券については、定額給付金の時期に合わせて、4月に販売を開始する。販売額は、1億円で20%のプレミアムを付け発行したところです。

年末にはと言ふことですが、今のところは答える準備がない。

**よりね家に保冷庫と渡り廊下を**

**問** さくらんど温泉本館から、よりね家に渡り廊下を設けてはいかがか。

生鮮野菜の保管や連休日による品切れ等の対策として、保冷庫の設置について伺う。

**答** よりね家は、農産物を中心とした地場産品、特産品の販路拡大や観光宣伝の施設として、活性化に欠かせない施設である。温泉から通路については、構造的な問題もあり、今後の課題である。保冷庫については、施設の改善及び運営方法等、指定管理者の意見と合わせて検討する。



さくらんど温泉に隣接する「よりね家」

## 一般質問(通告順)

けんもち 雄吾

## 総合会館管理棟、中ホールの今後、文化会館等の計画は！

**問** 総合会館管理棟、中ホールは、建築後40年経過しており耐震工事等の問題などあるが建てかえ等必要ではないか。

合併時の建設計画にあったが文化会館、文化ホール等の建設計画を立てられたらどうか。

**答** 管理棟及び中ホールについて築後40年経過している。総合会館の旧館部分については21年度耐震改修促進計画に基づいて耐震補強を進めたい。ご提案については検討課題とさせていただきたい。

文化会館の建設については、総合計画の基本計画にある。生涯学習の拠点施設の整備について運営、利用方策など検討しなければならないと考えている。

## 緊急雇用対策、雇用の創設、市臨時職員としての採用は！

**問** 百年に一度の不況に対応、雇用の創設では円滑な経営企業に対して新規雇用等の協力依頼をされたらどうか。また、失業された方々に対して市の臨時職員、公共的分野での採用等考てはどうか。

**答** 今後の雇用情勢は一段と厳しさが増すと思われるで、ハローワーク新津と連携を図り、企業の雇用調整の動向を注視していく。安定企業に対して雇用維持や求人の要請を行っていく。

国の補助を受けて実施する事業の中で21年度に市が直接雇用する事業は、健康づくり推進員配置事業、市関連新聞記事資料整理等書庫整備事業、スポーツ施設環境整備事業などで臨時職員28名の雇用を予定している。そのほか委託事業として防犯灯台帳整備事業等に11名雇用する予定。市独自の雇用対策として、3ヶ月程度の雇用期間の臨時職員を雇用したいと考えている。

相田 れい

## 補助金を全面的に見直し、効果的な財政運営を！

**問** 合併後一度も見直しされず継続されて来た事業も多くある。補助金によりどのように事業が好転し、地域に還元され、活性化されたのか、全体の事業評価をやり全面的な見直しをすべきです。

**答** 公平性、透明性、公益性が確保された補助金制度とするために定期的な見直しの仕組を構築し、期間の設定や趣旨・目的・市との役割分担、財政状況を総合的に考え総額を抑制していく中でも市民活動がより活発に展開されるよう配慮したい。



乳児室の様子（すみれ保育園）

## 子育て支援の環境整備について！

**問** インフルエンザ予防接種の補助金を増額し乳幼児の100%接種の実施を。又、0歳児保育の拡充と保育時間の延長、休日保育、病児保育の実施を。

**答** 予防接種は今年度から0歳から小学校修了まで1回1,000円の補助を年2回に拡大し実施する。0歳児保育は施設整備をし、新しくつくし保育園で生後2ヶ月から、かわひがし保育園で6ヶ月から対応したい。又、保護者の要望を踏まえ今後、保育時間の延長について検討する。休日保育は私立で実施されており2月から公立保育園の児童も利用出来るよう協議、病児保育については未実施であり、ファミリーサポートセンター事業援助活動を推進しながら、医療機関との協議を検討していく。

## 一般質問(通告順)

川瀬 圭介

### (仮称) 村松体育館新築工事の進捗状況と現体育館の使用期間について

**問** 現体育館をぎりぎりまで存続して使用するため、レイアウト上桜の伐採もやむなしとの説明を受け、でき得る限り伐採をせずに済む計画をして欲しい旨を伝えてきた。その後、説明もないままに伐採されてしまった。バリアフリー新法の認識が欠けていた結果であり、不勉強であったのではないか。

**答** 12月20日の竣工を目指し安全に工事を進めて行く。バリアフリー新法に基づき現体育館の取り壊し時期が早まった。議会、上司、関係者に説明が遅れたことは担当課の怠慢であったと思い深くお詫びをする。各、団体には他の施設を利用してもらい活動に支障がないように努力する。



建設中の（仮称）村松体育館

### 五泉市営野球場駐車場拡張工事の進捗状況と涉外事務等の経過について

**問** 国体に向けて駐車場拡張工事が進められている。農地の転用に手間取ったこと、その上地権者との契約もままならず、農林課に正式な手続きの申込みが遅れたのではないか。

**答** 農振除外の手続を平成20年3月から県との協議を始め、地権者7名との売買契約事務を12月27日に終えた。その間書類の修正や図面などの追加資料の提出を求められ手間取ってしまったことはやはり認識不足であり誠に申し訳なく思っており、新年度は体制のあり方も含めて厳重に対応していく。

広野 甲

### 火災報知機の設置推進について

**問** 全国で火災による死亡者が年間1,000人を超え、死亡災害を減少させるため火災報知機の設置が義務化され、急がれている。

五泉市では13.2%の家庭しか設置されていない。どのような方法で火災報知機の設置を市民に啓発し、全家庭に取りつけていただくのか、当局の今後の取組みをお聞かせ願いたい。連動型火災報知機が望ましいと考えるが、多額な費用が必要である。新たな補助制度を検討してもらいたい。

**答** これまで23回の説明会を開催し約5,000名の市民に聴講してもらった。また広報に17回、ホームページにも掲載している。連動型火災報知機の利点についても、説明会等を通じ、啓発普及に努めていきたい。上限4,000円の助成制度があるが、制度の拡充を検討するとともに、制度の啓発普及に努めたい。



住宅用火災警報器の種類（例）

### 消雪用井戸水の有効活用について

**問** 冬期間交通の便を確保する消雪パイプですが、この稼働率は年間、約1ヶ月程度である。井戸を完成させるには多額な費用が必要であり、井戸水を他の目的に利用できないか。

**答** 国の補助金を利用し融雪を目的としている。この為目的外の使用は出来ないことになっている。しかし夏のヒートアイランド現象緩和など有効活用する取組みがなされている。五泉でも、関係機関と協議をし検討して行きたいと考えている。

## 一般質問(通告順)

池田 邦一

## 健康福祉行政について

**問** 4月1日より旧広瀬医院跡地で月曜日から金曜日の夜間診療が開院になるが市民の中では知らない方々が多い、もっと市の広報やら町内会等の回覧板での徹底した周知のご配慮を願いたい。

**答** 4月より五泉市東蒲原郡医師会が開設、運営する五泉市東蒲原郡医師会夜間診療所が開院する事に成りました。これまでの休日並びに祝日の日中及び土曜、日曜午後の診療を当番医制により行って來たが、この程、平日の夜間に診療体制が確立されます。市民の救急医療に対する安心が整備されます夜間診療所開院について広報等を通じて市民への周知を十分に図ってまいります。



夜間診療所 開所式

## 商工観光行政について

**問** 急激な景気後退により非正規労働者などの雇用環境が悪化する中、当五泉市の緊急雇用対策の独自策を伺う。

**答** 国の補助を受けて緊急雇用創出事業の中で平成21年度に市が直接雇用する事業は健康づくり推進員配置事業、五泉市関連新聞記事資料整理等書庫整備事業、スポーツ施設環境整備事業等で臨時職員28名の雇用を予定、その他委託事業として防犯灯台帳整備事業等に11名を雇用する予定であります。市独自の雇用対策として3ヶ月程度の雇用期間の臨時職員を雇用したいと考えております。当面の雇用人員は20名できるだけ早く雇用したいと考えております。

佐藤 わたる

## 自治基本条例の制定について

**問** 市民に信頼される五泉市政は、参加と協働をもとに市民のための市民による行政でなければならない。そのためにも自治体の憲法である基本条例を五泉市の合併後の問題点を勘案しながら制定する時にきていくと思うが、市長の見解はいかに。

**答** 制定に当たっては、市民と行政の協働作業を大事に市民と行政がともに学び、考え、つくり上げるプロセスを大事にして、また最高規範として位置づけられる条例となることから、制定した自治体では大学の先生のアドバイスを受けながら1年から2年かけている。今後これら先進事例を参考にして制定に向けてさらに研究を進めてまいりたい。

## 出会いから縁結びへ

**問** 昨年の3月の質問の縁結び事業に対して、市長は市レベルよりも他市町村や関係団体との連携、県の検証結果をふまえて検討したいとの答弁がありましたが、その後の調査状況はいかがか？また県においても、少子化対策の重点として継続事業の「出会いサポート」を予算化しています。それに対する市の対応策は？

**答** 県では、昨年7月に新潟出会い系事業の名称で、独身の男女が気軽に参加できる内容で募集し、全県では信濃川サンセットクルーズツアー、広域圏では大人の遠足、市町村では佐渡市でオータムカフェを実施し、12組のカップルが成立しています。五泉市も県の各種イベント情報を積極的に提供しますので、多数参加して頂きたいと考えます。



## 一般質問(通告順)

熊倉 政一

## 学校給食における食育の取り組み！

**問** 学校給食における食材の地場産使用の現在の取り組み状況と安全、安心な食材を使用した地場産使用率100%を目指す取り組みの推進について。

**答** 地産地消を積極的に推進するため、計画的栽培を生産者の皆様にお願いし、農協を介して納品いただいている。また児童生徒と生産者との交流の機会を設け食育の充実を進めます。食材の使用状況は、小中学校の主食の米では地場産コシヒカリ100%を使用している。農産物の品目数の使用割合は、平成18年度が8.8%の実績を23年度には16%まで上げたいと考えている。



食育講演会の様子

## 水田フル活用交付金の位置づけと活用！

**問** 国は自給率向上につながる作物の作付けの拡大を図ろうとしているが、それを受けての市の考え方についてと市独自の取り組みとして、新たな特産物の創出を。

**答** 20年度の生産調整達成者が21年度においても生産調整を実施する場合、20年度の主食用水稻作付面積に対して10a当たり3,000円が交付されます。また21年度からは水田等有効活用促進交付金、産地確立交付金等により自給率向上につながる作物の作付け拡大を図ることにしており、市においてもこれらの作物の生産に取り組まれる農家に対して、支援してまいりたい。

長谷川 秀行

## 転作、減反がかかえる課題について

**問** 農業所得は年々減少し、所得の落ち込みを防ぐためには、農業を取り巻く環境において活性化を図らなければなりません。農業を基幹産業とする当市においても、農家の所得が減少し続けることは地域の活性化及び市の財政に大きな影響を及ぼします。そこで3点質問します。

まず1点目は、農業所得が年々減少していますが、過去5年間のデータ、数値等がありましたらお聞きしたい。2点目は平成21年度において減反率40.36%という大台を超えた。農家の死活問題と言っても過言ではありません。今後も転作の配分の増加が予想されますが、これまでの実績、対応についてお聞きしたい。3点目は小規模農家に対する市独自の補助政策を構築してほしいのですが、考え方を伺いたい。

**答** 5年前の平成15年は約94億円、平成18年は80億円となっておりまして、14億円ほど減少しております。特に米の生産額が約65億円から約54億円と11億円減少しております。農業所得の減少が後継者不足を招いて、農業従事者の高齢化という社会問題となっており、五泉市においても同様の状況であると考えております。市では新規就農者支援事業を行っておりますし、県農林公社においても担い手の育成に取り組んでおります。年々転作配分が増加して、農家の皆さんには大変厳しい状況となっております。環境保全型農業の推進についても関係機関と協力しながら努力してまいりたい。

次に市単独補助事業では産地づくりを図るために生産組織に対する省力化、共同化に向けた機械等の購入、流通促進への活動、転作試験圃の設置などの事業や地域で土づくり事業などの助成を行っております。



# 各委員会の構成

(平成21年4月1日現在)

常任委員会

## 議会運営委員会

委員長	貢雄夫
副委員長	夫夫
委員	博
委員	栄
委員	涉
委員	俊
委員	春
委員	周
委員	利
委員	藤
委員	阿
委員	山
委員	牛
委員	佐

## 特別委員会

## 広報特別委員会

委員長	田持部
副委員長	黒木川
委員	倉藤
委員	相劍
委員	阿石鈴
委員	長谷
委員	熊佐
委員	佐

## 総務文教常任委員会

委員長	雄吾
副委員長	介治
委員	夫
委員	久
委員	涉
委員	俊
委員	圭
委員	末
委員	俊
委員	秀
委員	和
委員	藤
委員	川
委員	目
委員	町
委員	長
委員	芳
委員	佐

## 厚生経済常任委員会

委員長	鈴池
副委員長	木田
委員	藤木
委員	川
委員	谷
委員	相
委員	阿
委員	平
委員	井

## 建設企業常任委員会

委員長	山広
副委員長	田野
委員	土林
委員	猪
委員	羽
委員	熊
委員	下
委員	倉
委員	腸

## 会派の状況 (◎ : 代表者)

### 革新クラブ市民連合

◎後藤 寛 長谷川真介 目黒 未治  
町田 俊夫 山田 博 長谷川秀行  
熊倉 政一

### 五泉政治研究会

◎鈴木 光規 牛腸 利栄

### さくらクラブ

◎相田 豊 羽下 貢 川瀬 圭介

### 市民クラブ

◎土田 春夫 林 茂 池田 邦一  
石黒 俊雄 芳賀 和久 平井 敏弘

### 自民・公明・清流月曜クラブ連合

◎剣持 雄吾 阿部 周夫 鈴木 良民  
広野 甲 佐藤 渉

### 日本共産党五泉市議会議員団

◎猪熊 豊

## 意見書の提出

3月定例会では、意見書1件を可決しました。

可決した意見書は、内閣総理大臣並びに関係大臣にそれぞれ送付しました。

C型肝炎被害者の救済に関する意見書

送付先：内閣総理大臣、法務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

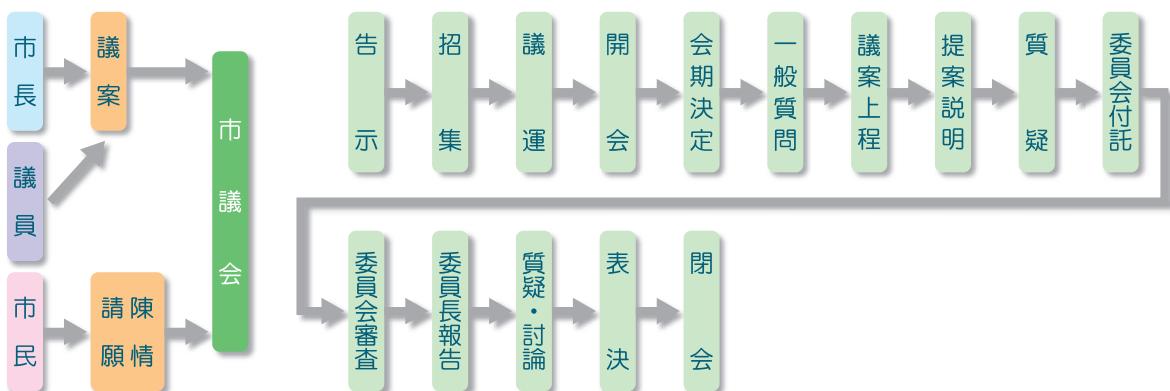


## 市議会の仕組み

### 市議会の運営

### ●市議会

市議会（定例会）に提案された議案などは、開会から閉会までの会期中におよそ次のような順序で審議が行われます。



### ●本会議

本会議は議案などを審議し、議会の最終的意見を決める会議です。原則として議員定数の半数以上の議員が出席しなければ開くことはできません。

市長が議案について提案理由を説明したり、議員が議案や市の事務について質問したり、意見を述べるのもこの会議です。本会議は公開が原則であり、傍聴することができます。

### ●委員会

議案などは、最終的には本会議で決められますが、市の仕事は幅広く複雑なためいくつかの委員会を設け、専門的、効率的に審査します。

委員会には、常任委員会と特別委員会があります。

### 編集後記

「勁草」とは強い草である。風の穏やかな日には強い草も弱い草も区別がない。だが、一度疾風が吹き荒れると、弱い草は地べたに這いつぶばつてしまつが、強い草は吹かれても、頭を上げてまっすぐ立とうとする。疾風の吹き荒れる日にこそ勁草の真価が發揮されるのだ」これは後漢書に出てくる言葉である。

「疾風に勁草を知る」という故事は、百年に一度の不況の中で一番だいじな事だと思っております。

議会だよりも、今回で二年目となります。市議会の内容をより早く、よりわかりやすくを基本に、議会終了日から30日以内の発行を目指してまいりました。今後、更に研鑽を積み、読み易い議会だよりの発行を目指して参ります。

議会に関するご意見・ご要望をお寄せください。

議会事務局

内線370  
☎(43)3911